

意見交換会で 出された ご意見・ご感想



参加者の皆さんからは、不動通り地区の景観まちづくりに取り組んでいく決意や前向きなご意見が出されました。

- 板橋宿を多くの人に知ってもらいたいため、景観まちづくりプランができて良かった。近くに平尾交番があり、不動通り商店街は板橋宿の中でも中心の平尾宿に位置していたと考えられる。現在も多くの人がまち歩きで観光センターに立ち寄りなどしてくれているが、そういう人たちにまちの歴史や文化を伝えるために、これからも区と協力しながら板橋宿の姿を残していきたい。
- まちのルールについて話し合うなかで、初めて分かることが多くあった。商店街は自然発生的にできたものだが、うまくいかないと自然消滅的に消えていく。そのため、地域や行政との合意に基づいてコントロールしていく必要がある。いろいろな意見があるため合意を形成するのは難しいが、活動を継続して少しでも理想に向かって進んでいくことが良いと考えている。
- 伝承されてきた古いものは、世代を超えた交流の中で語りつぐことができる。暖簾を下げるなど見た目を整えることも最終的な目的は同じだが、景観は人が作っているため、根本的に良くするにはそれだけでなく、商店街のプレイヤーを増やしていくことが大切だ。今回のプロジェクトはとても理想的で素晴らしいと思っているので、重点地区になれば良いと思うし、この活動を今後につなげたい。
- 地元の人から今後の抱負も聞いたので、これからは楽しみである。まちづくりプランに沿ったまちになればとても良い。個人的には「ちょっと寄ってって板橋宿」のキャッチフレーズがとても気に入っている。この辺りは宿場町として人が泊まる通過点であったが、そうした背景も反映されている。また、昔は緑が多かったり、三味線の音が聞こえたそうで、そうした情緒も大切だと思っている。
- 不動通り商店街については、加賀のマンションの見学をする際、不動産屋がこの通りを周辺の魅力的な場所として紹介していたのが印象的だった。銭湯のあるまちに住みたいと思っていたので、花の湯がマンション購入の決め手となった。花の湯には、最後の日まで通った。今後も、地域のみなさんと何かできたら良いなと思っている。
- 無電柱化を事業化することが困難な中、区内で唯一無電柱化できたのが不動通り商店街だった。そういう意味では、この商店街には区の投資が常に向けられているので、これからもこの流れを止めずにまちづくりの活動を進めてほしい。プランについて、地域で反対する人はそれほどいないのではないかと。関係者の思いが熱いうちに、重点地区に指定するなど区のしくみに載せられると良い。



お知らせ

いたばし景観写真展 「板橋宿不動通りと江戸四宿」開催！

区役所 1 階にて、不動通りの景観まちづくりを PR するとともに、江戸四宿（板橋宿、品川宿、千住宿、内藤新宿）を紹介する展示を開催！

一昨年、惜しまれつつ解体された銭湯「花の湯」の破風彫刻や鬼瓦も展示！



花の湯の玄関屋根の破風の装飾だった彫刻



左上：深斎茶泉《木曾街道六拾九次 木曾街道板橋宿》
右上：歌川広重（初代）《東都名所 御殿山花見品川全図》
左下：橋本貞秀《日光御街道千住宿日本無類橋杭文風景本願寺行帳之図》
右下：歌川広重《四ツ谷内藤新宿『名所江戸百景』》

板橋宿不動通り地区の景観まちづくりに関するお問い合わせ

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観担当 tel.03-3579-2549（直通） email: t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp

板橋宿不動通り地区 景観まちづくりニュース

景観まちづくりプラン がまとまりました！



昨年 12 月の朝市の後に意見交換会を開催しました。商店街や地域にお住まいの方にご意見をお聞きし、景観まちづくりプラン(素案)がおおむねまとまりました。

詳しくは内面をご覧ください。



今後の スケジュール予定

12月	第5回 意見交換会開催(12/16) 「景観まちづくりプランを点検しよう！」
1月	ご参加ありがとうございました！
2月	いたばし景観写真展 「板橋宿不動通りと江戸四宿」の開催 (2/18~22) 区役所1階にて展示！
3月	景観まちづくりプラン 素案の完成
4月	景観形成重点地区の 指定に向けた検討
5月	

景観まちづくりプラン(素案)の中身とは？



1 板橋宿不動通り地区景観まちづくりプランとは

景観まちづくりプランの目的や対象範囲を示すとともに、地区の歴史と景観の変遷について「まちの成り立ち」として昔の写真とともに整理しました。



現存する旧安田銀行の建物も写る大正12年頃の街並み(写真:板橋区公文書図書館)

プランの対象範囲

板橋宿不動通り商店街を基本とします。

2 地区の現況における魅力と課題

景観まちづくりプランの検討にあたっては、専門家による景観の現況調査を行うとともに、勉強会・アンケート・ヒアリングによって、板橋宿不動通り地区の「魅力」と「課題」を整理しました。

「魅力」守りたい・残したいところ

- 電線地中化・美装化
- 歴史的資源
- 看板建築・レトロ建築
- 昔ながらのまちなみ
- 店先の小さな緑
- 街路樹や広場の緑
- 共通性のある壁色
- テントの連続性
- 由緒ある建物
- 木製看板
- 室外機の修景
- 自販機の修景



3 景観まちづくりの方向性

将来のまちの景観の方向性を「ちょっと寄ってって板橋宿」と定めることとしました。

この言葉には、めざしたい将来のまちの景観の方向性と思いが込められています。

将来のまちの景観の方向性

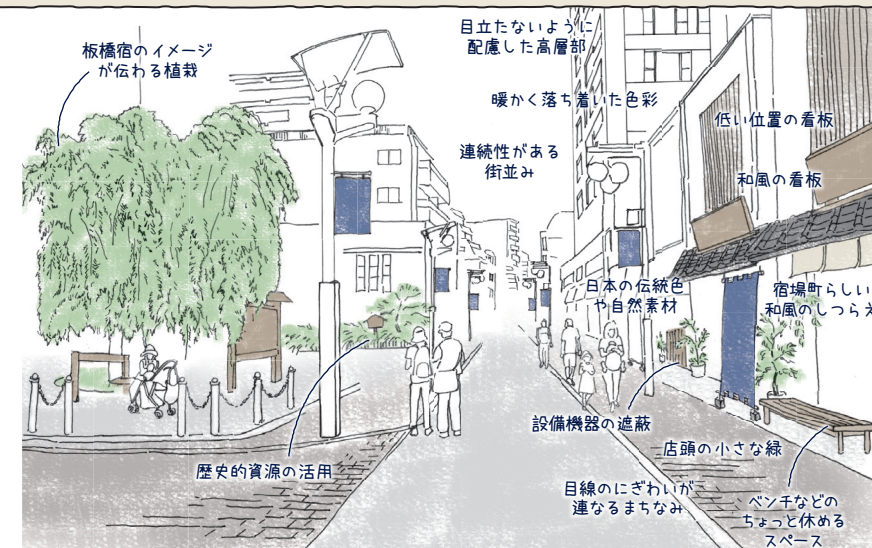
ちょっと寄ってって 板橋宿

ちょっと寄ってみたくなる景観とは...

- 人が集い賑わいが溢れる景観
- もてなしが感じられる景観
- ほっとする心地よい景観
- 商店が連なるまちなみ景観

板橋宿の面影を感じさせる景観とは...

- 板橋宿の歴史を伝える景観
- 和を取り入れた風情ある景観
- 歴史の積層を物語るレトロな景観



板橋宿不動通り地区の景観まちづくりの集大成となる「景観まちづくりプラン(素案)」がおおむねまとまりましたので、内容をご紹介します。



景観まちづくりプランの目次

1 板橋宿不動通り地区景観まちづくりプランとは

- プランの目的
 - プランの性格
 - プランの位置づけ
 - プランの対象範囲
- ✿ まちの成り立ち

2 地区の現況における魅力と課題

- 現況の把握
- 意向の把握
- 板橋宿不動通り地区の「魅力」と「課題」

3 景観まちづくりの方向性

- 将来のまちの景観の方向性
- テーマ別の方向性

4 景観まちづくりの具体化に向けて

- 資源を活用した景観まちづくり
 - 自ら取り組む景観まちづくり
 - 協働による景観まちづくり
- ✿ 板橋宿不動通り地区景観まちづくりルール(案)
- 板橋宿不動通り地区のPR

5 景観まちづくりの記録

- プラン検討の経緯



4 景観まちづくりの具体化に向けて

景観まちづくりを具体的に進めるために、地域に既にある資源を再認識して活用することや、持続的に取り組むことができる景観まちづくりの考え方などをまとめました。

また、めざしたい将来のまちを実現していくための景観のルールを話し合い、「景観まちづくりルール(案)」にしました。

景観まちづくりルール(案)の抜粋

配置	旧中山道の道幅に合ったスケールを意識し、壁面位置や軒の高さの連続性に配慮します。	
高さ・規模	旧中山道を歩く歩行者からの見え方に配慮し、周辺の建築物の高さ・規模との調和を図ります。	
形態・意匠	低層部では、宿場町の面影が感じられる街並みの連続性に配慮します。	
色彩	伝統的に用いられてきた和の建材と類似する暖かく落ち着いた色彩を基調とします。	
公開空地 外構 緑化等	出来るだけ店頭に小さな緑を置きます。 マンションは、入口部分や塀などの外構を和風とするなど、宿場町や街道のイメージに配慮した外構とします。	
駐車場などの付属物	時間貸し駐車場は、設備類の色彩や看板のデザインを街並みに調和するものとするよう配慮します。 室外機などの設備機器が、やむを得ず外から見える場合は木質系ルーバーなどでカバーするなど工夫します。	
照明	店先に暖色系のあかりを置くなど、夜を演出する照明に配慮します。 店舗の照明は温かみのある電球色を基本とします。	
屋外 広告物	位置	屋外広告物は、低い位置(街灯ラインの下)に集約します。
	色彩	新規に設置する看板類は、伝統色を使用するよう努めます。
	素材	木材や自然素材などの質感豊かな素材を用いるよう努めます。
表示	宿場町らしい和風のデザインや落ち着きに配慮します。	

屋外広告物に推奨する伝統色の例

きなりいろ 生成色	すみいろ 墨色	べんがらいろ 弁柄色	からしいろ 芥子色	ちとせみどり 千歳緑	あいろ 藍色	てつこん 鉄紺
10YR9.0/1.0 [19-90B]	N2.0 [N-20]	7.5R3.0/6.0 [07-30L]	2.5Y7.0/6.0 [22-70L]	2.5G3.0/4.0 [42-30H]	2.5PB3.0/4.0 [72-30H]	5PB2.0/2.0 [75-20D]

日本の伝統色の近似値を、記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本番号により表しています。

12/16の意見交換会で、参加者の皆さんから出されたご意見や感想を次のページで紹介いたします。

